

## 関西支部勉強会レポート

### 第 10 回関西支部勉強会

あいちサイエンスフェスティバルをはじめよ！～愛知県で何をやっているのか？～

**日時** 2011年8月2日(火) 18:00～20:00

**場所** 京都大学 吉田泉殿

**ゲスト** 藤吉隆雄 氏 (名古屋大学 社会貢献人材育成本部 サイエンス・コミュニケーション推進室 特任助教)

**人数** 9名

今日のゲストは、藤吉さん。

わざわざ名古屋からお越し頂きました。(ありがとうございます！！)

#### 1. 藤吉さんの自己紹介

マンガの中で科学技術がどのように描かれていたのかが研究テーマ。

京都国際マンガミュージアムに研究者として登録もしているよ！

→今日は時間がなくてマンガミュージアムに立ち寄れず・・・残念。

8月に、岡本一平さん(岡本太郎の父、アインシュタイン来日時の随伴マンガを書いたりした人)についてはこだて国際科学祭で話す予定。

#### 2. あいちサイエンスフェスティバル概要

2011年秋(10/1～11/6)は、愛知県でもサイエンスフェスティバル！

「あいちサイエンスフェスティバル (<http://aichi-science.jp/>)」

2009年から函館と東京の三鷹で、サイエンスフェスティバルが始まっている。

函館：9日間。事務局が中心になってほぼ全てのイベントを実施。

三鷹：事務局が広報を一括して担い、みんなに企画を登録してもらう方式。

愛知が狙うのは、函館と三鷹の Mix 型。

つまり、事務局もイベントを主催+他団体からのイベント加入を受け入れる。

## 関西支部勉強会レポート

### 事務局主催イベント

- ・名古屋市内の繁華街、栄で 30 人規模のサイエンストークを実施。  
→今まで科学に関心のなかった人にもふらっと立ち寄ってもらいたい。
- ・市民向け講演会（トップクラスのゲスト）を毎週土曜日に実施。  
→企業が主催のサイエンス・カフェと曜日が重ならないように。
- ・STS 分野やジャーナリズム系の企画も盛り込む。  
→科学に関する多様な側面が入るように。

### 他団体主催イベント

- ・サイエンスフェスティバルのロゴを使ってもらおう。
- ・登録された情報を Web サイトで発信。

いろいろな場所で科学に関する議論を生み出したい。

2012 年に愛知県で開催される国際航空宇宙ショーとも連携。

## 3. ここまでの経緯

2010 年 10 月ごろ、藤吉さんの心の中で最初の案が生まれる。

その後、紆余曲折ありつつも・・・

JST 科学コミュニケーション連携推進事業 地域ネットワーク支援に応募。

採択された！

- 3年間、1200万／年（人件費含む）のプロジェクト。
- 実行委員会&外部評価委員会の運営が意外に大変・・・
- 3年後、自立して継続すること！がJSTから要求されている。

### 愛知県の特徴

- ・県内に 49 大学。
- ・いろんな産業多い。企業博物館も多い。
- ・愛知万博、COP10 のおかげで、環境などに関する意識も高い。
- ・名古屋市の科学館もリニューアルしたばかり！

### これまでの課題

- ・横の連携がない。お金も人もそんなにない。

## 関西支部勉強会レポート

- ・まとまったボランティア組織があるわけではない。

### 4. すること

(1) Webをつくる

他団体がイベントを登録

(2) 人材を育成する

動植物園などのボランティア制度がやっていない部分を補う。

OJTで。

例えば・・・

講義→カフェ運営→コミュニケーター認定→クラブ活動

(3) 場としくみを提供する

栄でのサイエンストーク

映像でアーカイブ

Webで見られるようにする。

→当日来なかった人でもふらっとのぞける

→ロングテール型モデル！

“カフェ支援パッケージ”のようなものを貸し出す？

### 5. 名古屋大学のサイエンス・コミュニケーション推進室って？

(<http://science-communication.jp/index.php/news/single/10>)

属している社会貢献人材育成本部は部局ではなくて、複数の外部資金で運営されているプロジェクトの集合体。サイエンス・コミュニケーション推進室は、愛知県ふるさと雇用再生特別基金事業「サイエンス・コミュニケーター育成事業」で運営されている。

### 6. その他のつぶやき

組織の作り方によって、やれることって違うよね。

科学コミュニケーション研究会 関西支部有志  
第10回勉強会・運営担当 加納 圭・水町 衣里 (京都大学)